

平成26年度食の安心・安全アンケート調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

府民の食の安心・安全に係る意識を把握し、京都府における食の安全や信頼性の確保の推進に資する。

(2) 調査対象

京都府くらしの安心推進員（食品表示チーム）283名

(3) 調査方法

郵送書面調査

(4) 実施期間

平成27年2月～3月

(5) 有効回答数

192名（有効回答率 67.8%）

回答者の平均年齢（推定） 約68歳

【京都府くらしの安心推進員】

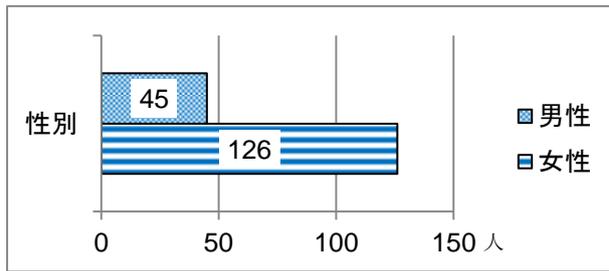
趣 旨 府民協働による食の安心・安全確保と消費者被害の未然防止。
食の安心・安全推進課と消費生活安全センター（府民生活部）が連携して設置。

活動内容 ・食品表示の監視を行う府民ボランティア
・食の安心・安全情報の伝達
・消費者トラブル未然防止・早期発見のための見守り活動

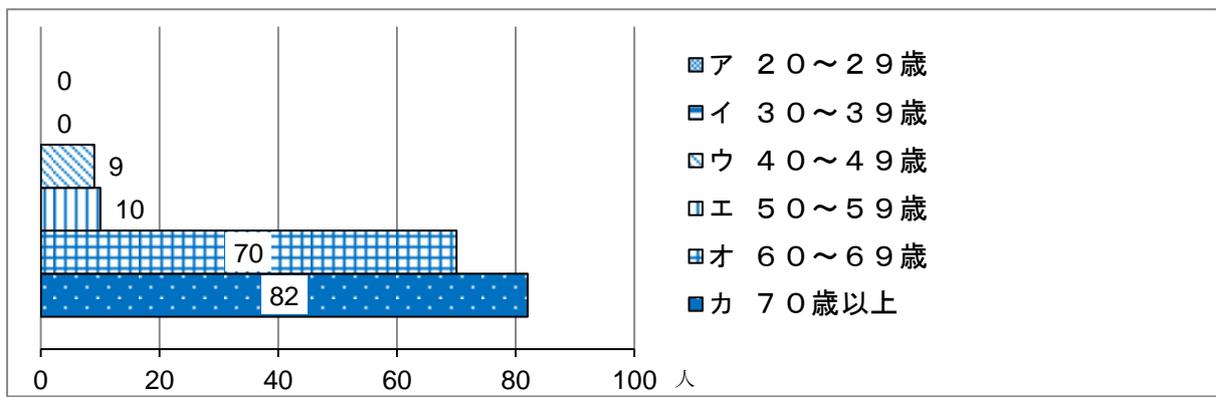
2 調査結果

(1) 回答者属性

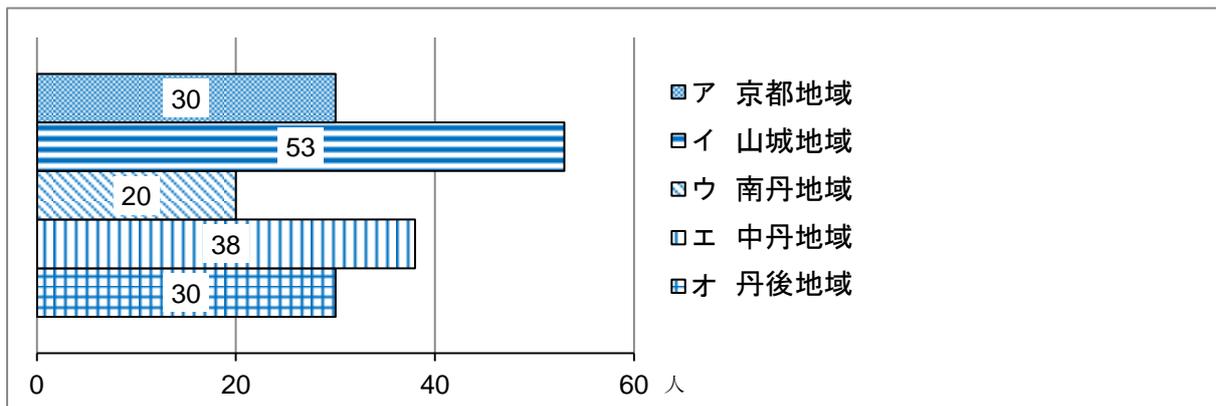
ア 性別



イ 年代



ウ 住まいの地域



性別では、男性45人（26.3%）、女性126人（73.7%）となっている。

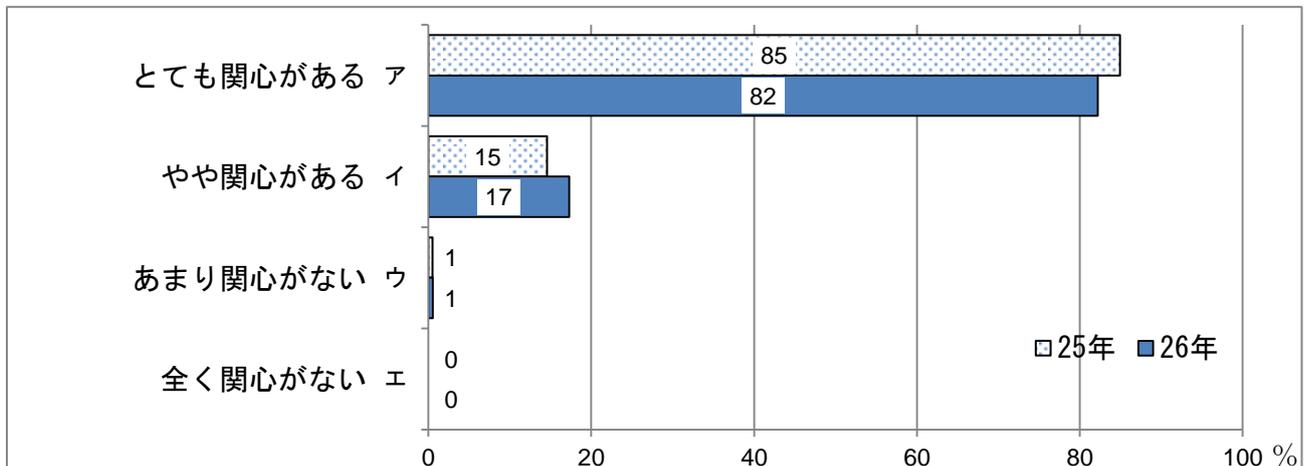
年代別では、60歳代が70人（40.9%）、70歳以上が82人（48.0%）であり、20歳代、30歳代は0人となっている。

地域別では、京都地域が30人（17.5%）、山城地域が53人（31.0%）、南丹地域が20人（11.7%）、中丹地域が38人（22.2%）、丹後地域が30人（17.5%）となっている。

(2) 食品の安全への意識

Q1 日常生活を取り巻く安全の分野には、自然災害、犯罪、交通安全、環境問題など様々なものがあります。

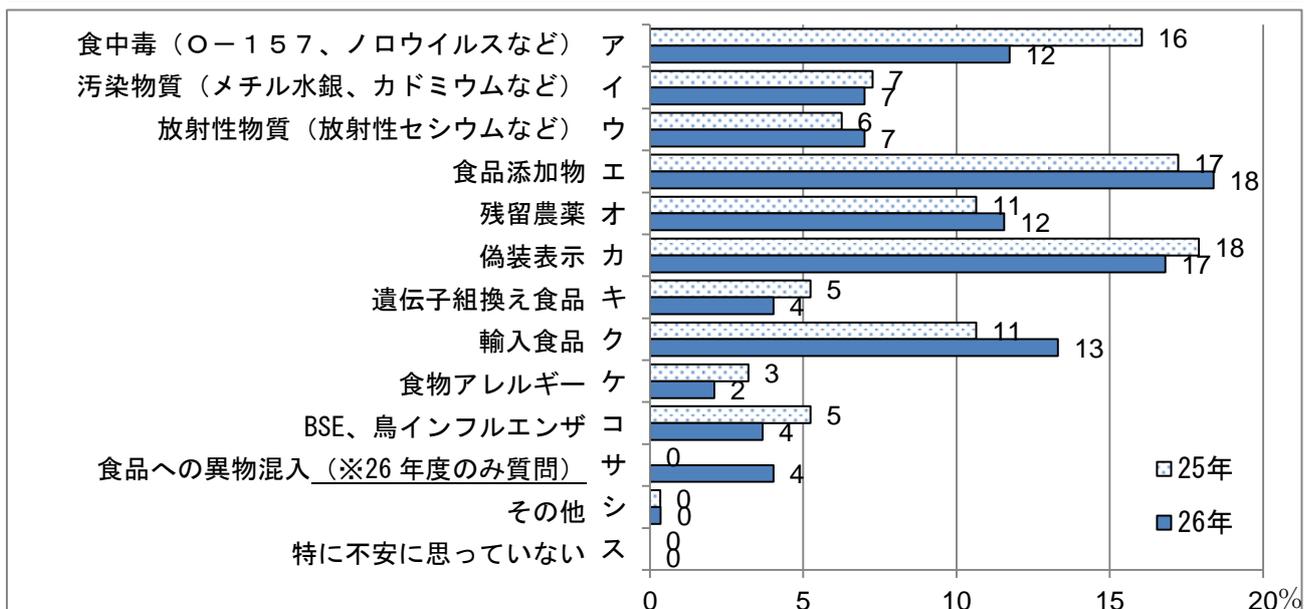
あなたは、食品の安全について関心はありますか。次の中から1つ選んでください。
ウ、エを選んだ方はその理由もお書きください。



ウを選んだ理由：値段の安い物を常に求めているため無理

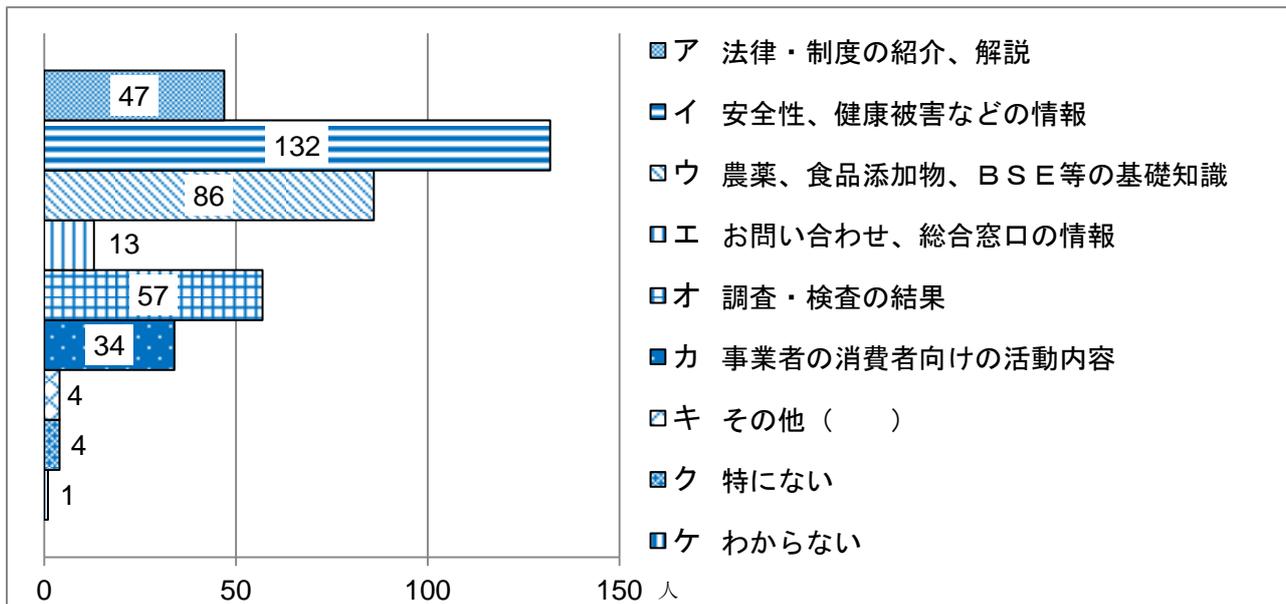
「とても関心がある」と回答した人は82%であり、「やや関心がある」と合わせた「関心がある(計)」は99%と高い割合となっている。

Q2 食の安全について、あなたが特に関心を持っていることは何ですか。
次の中から3つまで選んでください。



「食品添加物」及び「偽装表示」に関心がある回答した人の割合が最も高くなっている。昨年度の結果と比較すると、「輸入食品」に関心のある人の割合が増加している。

Q 3 食品の安全について、あなたがもっと知りたいと思う情報は何ですか。
次の中から2つまで選んでください。



【その他の主な意見】

- ・偽装表示、特に産地偽装（外国産を国内産など）
- ・複数の食材を原料として製造した加工品について、各々の原料の産地表示
- ・生産時の情報、そして流通段階での情報等のトレーサビリティの明確化
- ・2つでは足りない

「安全性、健康被害などの情報」、「農薬、食品添加物、BSE等の基礎知識」、「調査・検査の結果」を知りたいと回答した人が多くなっている。

その他の意見として、食品の産地を知りたいとの意見があった。

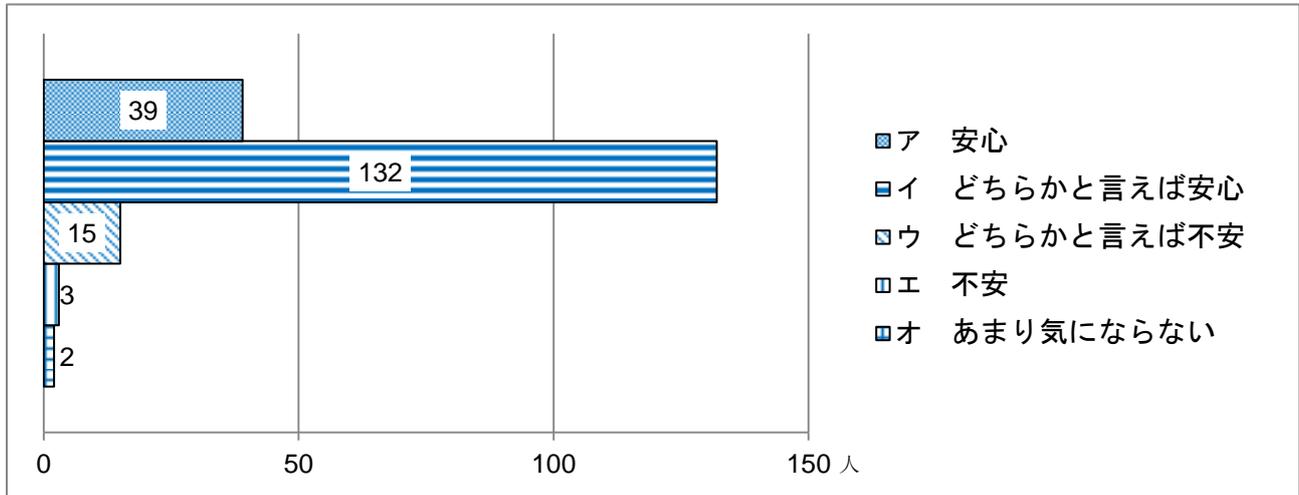
Q 4 現時点での「食」について、不安はどの程度ですか。
次の中から1つ選んでください。



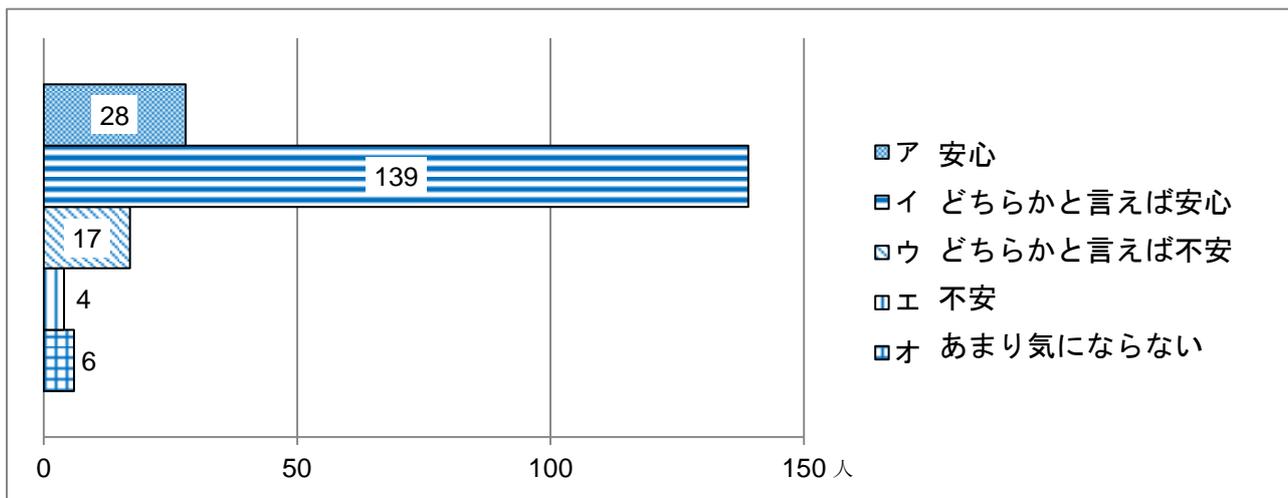
「とても不安を感じる」と回答した人は37人（19.4%）、ある程度不安に感じると回答した人は124人（64.9%）となっている。両者を併せると、161人（84.3%）が食に不安を感じている。

Q 5 あなたは、京都府産の食品の安心・安全についてどう感じていますか。
次の中から1つ選んでください。

5-1 京都府産生鮮食品について

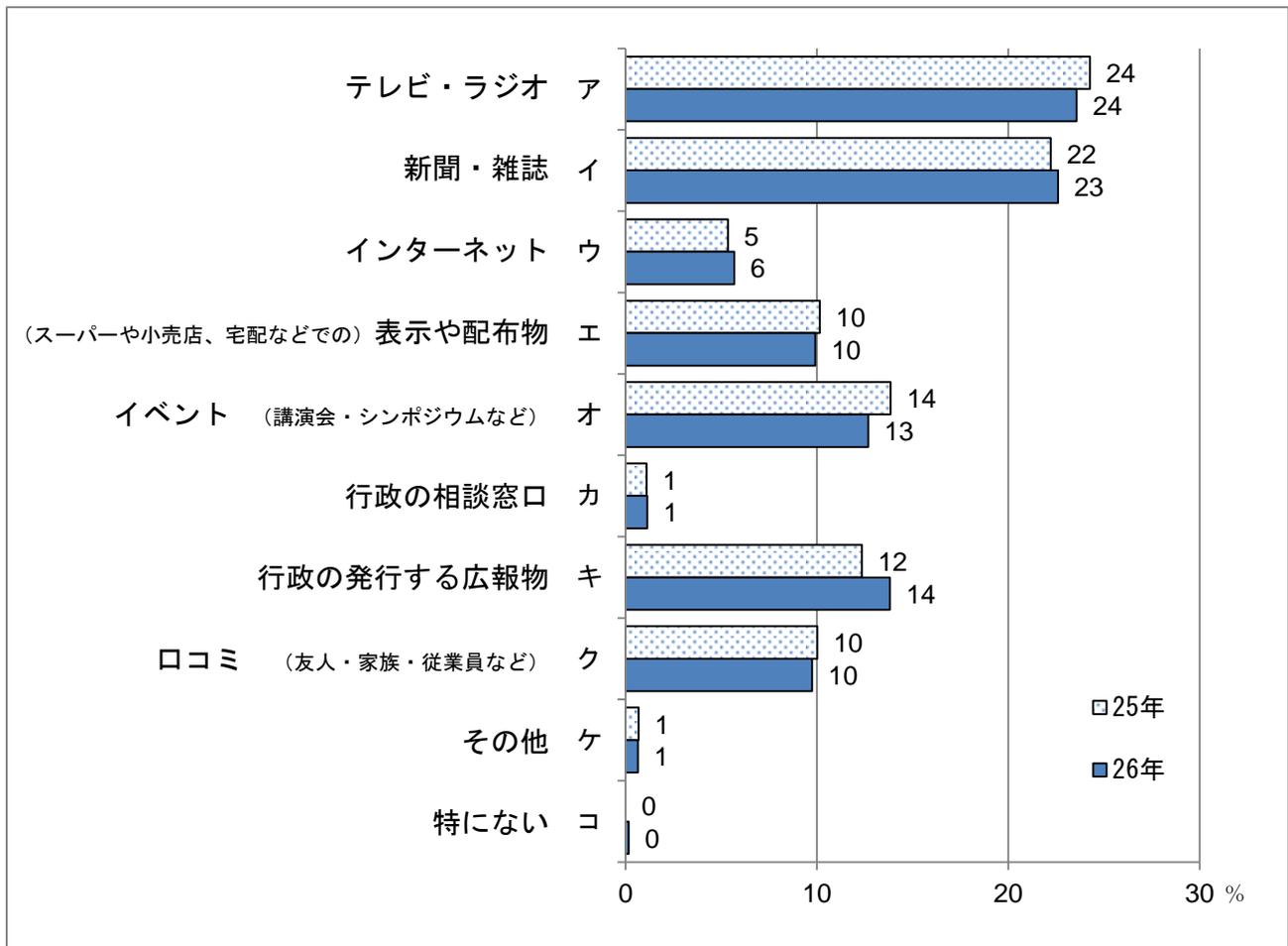


5-1 京都府産加工食品について



生鮮食品、加工食品ともに「安心」、「どちらかと言えば安心」と回答した人が生鮮食品では171人（90.0%）、加工食品では167人（86.1%）と、府内産の食品への安心感が高い。

Q6 あなたは、食品の安全の情報について、どこから得ることが多いですか。
次の中からいくつでも選んでください。

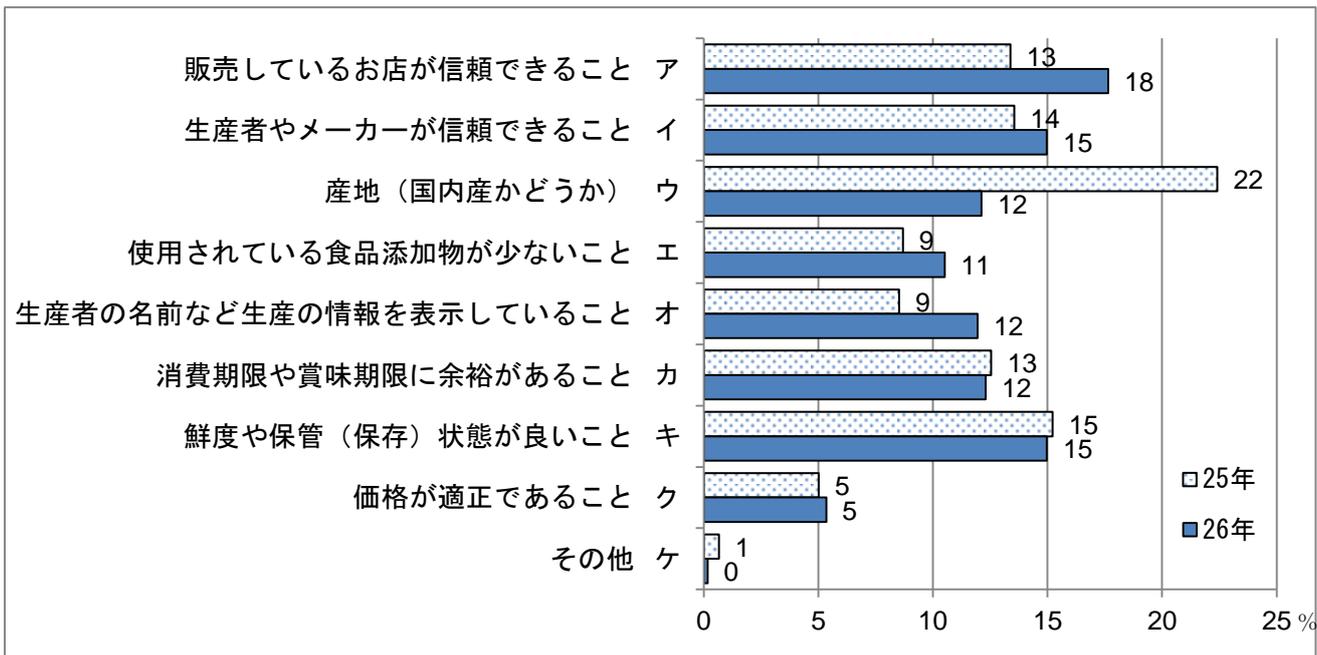


【その他の意見】

- ・生協からの情報
- ・郷土料理講習会や試食交流会、子育てサロンなど
- ・あまり情報は得られていないと感じている
- ・市のサークル

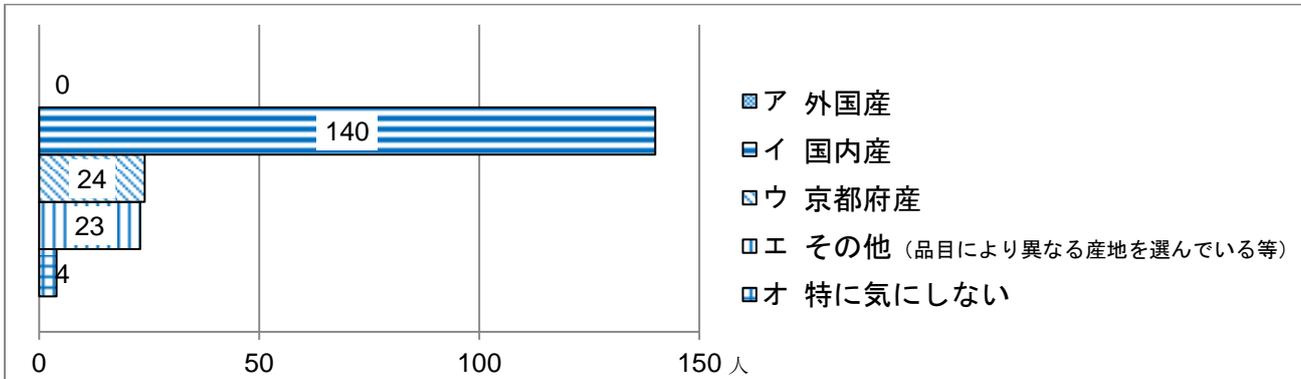
「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌」等のマスメディアを挙げた人が多く、次いで「イベント（講演会・シンポジウムなど）」、「行政の発行する広報物」の順となっている。行政の相談窓口から情報を得る人は1%となっている。

Q 7 あなたは、食品を購入する時に、食品の安全についてどのような点を考慮していますか。次の中から3つまで選んでください。



「販売しているお店が信頼できること」(18%)、「生産者やメーカーが信頼できること」(15%)と回答した人が多くなっている。

Q 8 あなたは、食品を購入する時に、どこの産地を選んでいきますか。次の中から1つ選んでください。

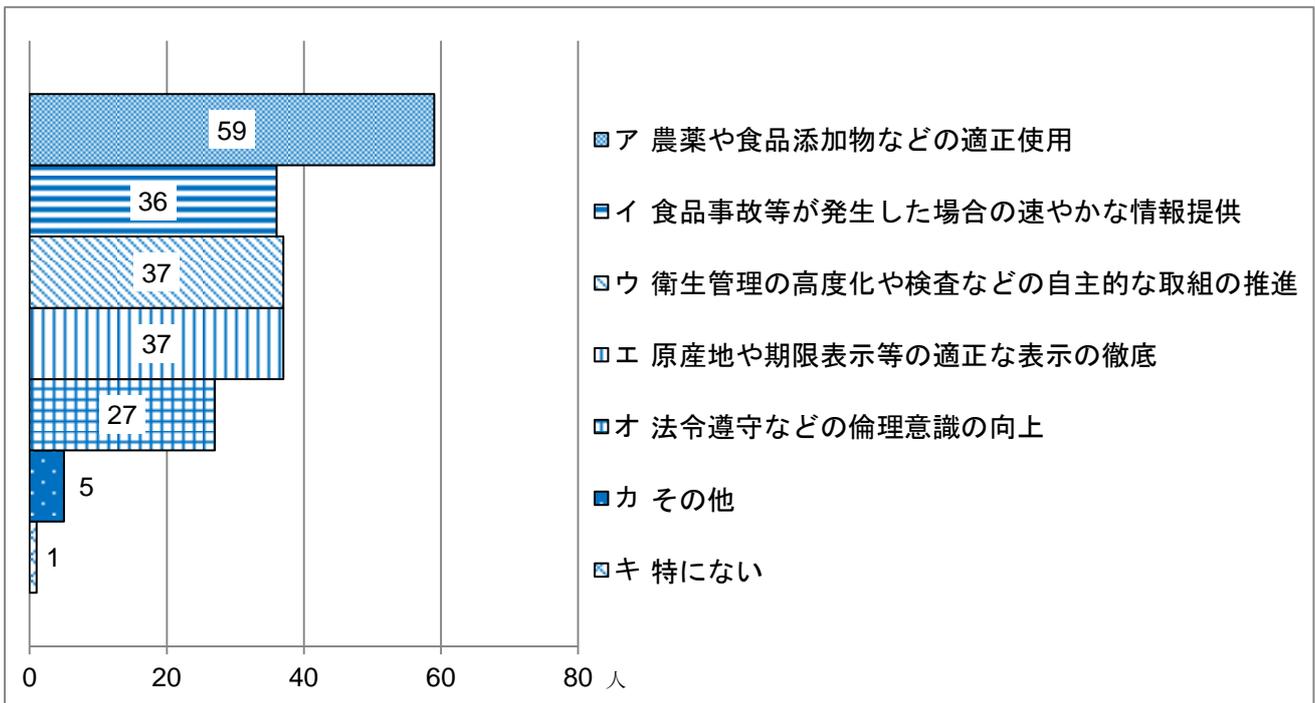


【その他の意見 (抜粋)】

- ・生鮮、加工食品とも国内産を選んでいるが、野菜は京都府産にしている
- ・できるだけ京都府産を選んでいる
- ・極力国内産を選ぶようにしているが、品目によっては外国産になるものもある

「国内産」を選んでいる人が最も多く、140人(73.3%)であった。次いで、「京都府産」選んでいる人が24人(12.6%)と多かった。「その他(品目により異なる産地を選んでいる等)」と回答した人は23人(12.0%)であった。外国産を選んでいる人はいなかった。

Q9 あなたは、安心・安全な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」に望む取組は何ですか。
次の中から1つ選んでください。

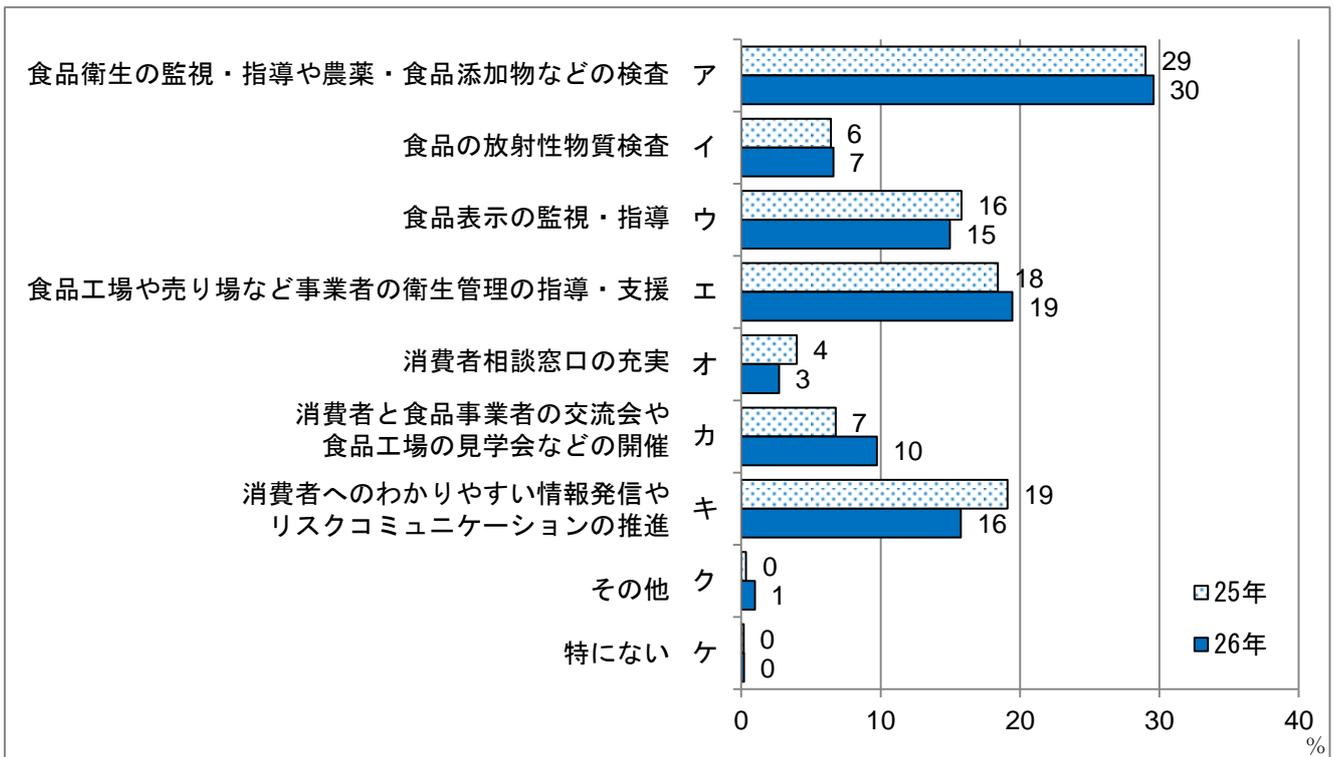


【その他の意見】

- ・ 確実な対応
- ・ 衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の情報開示と適正化事業

「農薬や食品添加物などの適正使用」が59人（29.2%）と最も多くなっている。また、「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」、「衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進」等と回答した人も多い。

Q10 食品の安全性を高めるために、京都府がさらに強化すべき取組は何だと思えますか。
次の中から3つまで選んでください。



【その他の意見】

- ・優良生産者や事業者の開示、表彰など
- ・安全に係る事故・トラブル発生時には、厳正な態度で対処し、その原因追及及び解決への対処策及び根本的な改善策を業者に報告させ、可能な限りの情報を消費者に告知すると共に、6か月後、1年後の抜打ち検査の実施とその結果の公表
- ・各部門での交流をもっと多く持ち、それぞれの互いの立場、問題点を共有し解決を図るために継続的に運用できる組織運営が必要である。上から目線での指導・教育は既に遅れた方法で、自主的運営ができないと民衆はついて行かない。
- ・検査や監視もできる件数が限られてくる。他に、全般に渡りできる方法はないか。

「食品衛生の監視・指導や農薬・食品添加物などの検査」と回答した人が今年度も30%と最も高くなっている。また、約2割の人が「食品表示の監視・指導」、「食品工場や売り場など事業者の衛生管理の指導・支援」、「消費者へのわかりやすい情報発信やリスクコミュニケーションの推進」を望むと回答している。

Q 1 1 食の安全について、ご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

【抜粋】

- ・外国産のものがあまりにも多く、日本産に出会うと安心して買います。
- ・異物混入や色々な偽装等食品、食材に対する信用ができなくて社会全体で混乱しているようです。信じられる安心・安全の世の中に力を合わせて1歩でもしていきたいですね。
- ・問題が起きても情報が入ってくるのが遅い。早く知りたい。
- ・食品購入は国内産と決めているが、産地が分かりにくい時があります。明確にしてほしい。
- ・先日、福島東電より海へ放射性の汚染水が流出されたとのこと。やっと安心して食べていたものが…。これからどうしたらよいか？ 子供を持っている人、特に小さなお子さんを持たれている家庭では、何を食べたらいいいのか(国産の表示だけでは不安という話でした)。安心、安全な食べ物を食べたいです。
- ・京都府産のラベルを見ると安心感が湧いてきます。
- ・どこの売り場(店)に行っても京都府産の野菜やくだものをまず探して買います。学校が取り組んでいるところも出てきたので有難いです。もっとたくさんの食品を売り出してほしいです。
- ・消費者が正確な情報を得る機会を多く企画してほしい。例えば、「きょうと食の安心・安全フォーラム」等、私たちはこのフォーラムを通して行政や事業者が如何に食の安全を守るために努力しているか良く理解できました。
- ・東北(福島)の生産物をなるべく買ってあげたいと思うが、未だ何となく安全性に問題を感じる。今どんな状態かわかりやすく広報してほしい。
- ・エコファーマーのお野菜は、今のところ、私の安心条件で買えるお野菜です。このような野菜が府内産全てになるとうれしいです。
- ・できるだけ生産者や使用された農薬や肥料などが分かるもので安心できる販売店で買うようにしています。スーパーの特売は、ほとんど買いません(不安があります)。
- ・行政の情報を信頼しています。マスコミに振り回されない独自の安全性確認を希望します。
- ・商品に書いてある「原材料名」欄には詳しい産地が書いていないので書くのを義務化してほしいです。国内の産地は気になりませんが、中国産を知らずに食べるのはいやです。ただ中国産と知って食べるのは納得できます。
- ・外国産の食品は本当に安全安心なのかという疑問が常にある。日本の厳しい基準をクリアして日本に輸入されているのだから大丈夫という人がいるが、本当に基準を満たしたものだけが日本に入ってくるのか常に不安がある。
- ・国内で注意していても外国で加工されている物については、何も分からないので、その点が不安です。外食の場合特にいちいち「どこ産ですか?」とか「どこで加工されましたか?」なんて聞きませんし。マクドナルドの事件以来、怖いです。